

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		第6次総合計画策定業務						予算事業名		企画調整事務経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				02	01	07	0501	経常経費						
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業				
		5-2自立した行政経営の確立(行財政運営・広域連携)												
		①効率的な行財政運営						担当課係等		企画政策課				
1計画的な財政運営						企画調整係								
事業期間		新規(平成31年度～平成32年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
計画的に施策,事務事業が行われ,基本構想や将来都市像が実現される。							行政運営上の最上位計画である。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
施策評価等,現計画の検証後,新たな施策を体系付けし,その方向性と達成目標を設定する。							全市民							
							【事業をとりまく環境の変化】							
							地方自治法の改正に改正により,現在は作成に関する法的義務は無い。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
総合計画策定業務(2ヵ年) ・市民アンケート ・現状分析 ・市民会議開催 ・策定委員会開催 ・総合計画審議会開催				総合計画策定業務(2ヵ年) ・策定委員会開催 ・総合計画審議会開催 ・パブリックコメント実施 ・策定(10月頃予定) ・冊子印刷・配布										
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	0	0							
歳入計(千円)				0		0								
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)								
歳出計(千円)(A)				0		0								
伸び率(%)														
備考	総合計画137ページ 予算書 ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	策定委員会の開催	回	目標	0.00	0.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	総合計画審議会の開催	回	目標	0.00	0.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	総合計画の策定		目標	0.00	0.00	0.00
	H32年度策定		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市の最上位計画であり必要性は高い
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が作成する計画である
	手段の妥当性	A 妥当である	市民・企業等から多くの意見を聴取するためには、専門的なノウハウ有した事業者への委託が有効である
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	プロポーザル方式等を検討し、効率性の高い業務委託を目指す
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市全体が対象である
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
子育て支援や定住促進など、市民ニーズと社会情勢を的確に把握しながら、特に人口を減らさない施策に重点を置いた計画の策定を目指す。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 地方自治法による基本構想策定の義務付けは無くなったが、市内外へ本市が目指す都市像を示していく必要性は高いため、第6次結城市総合計画の策定を進める。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。